

長い文章を読んでえらぼう

小4／少し長い文章を読んで、正しい説明を2つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 こん虫の冬ごしを よんで、正しい説明を2つえらびましょう。

こん虫は、まわりの温度によって体温が変わる生き物です。そのため、寒い冬には活動できず、それぞれのすがたで冬をこします。カマキリはたまごのかたまりで、テントウムシは成虫のまま落ち葉の下に集まって、モンシロチョウはさなぎで冬をこします。あたたかい春になると、また活動を始めます。

- 1 こん虫は温度によって体温が変わる。
- 2 こん虫は冬でも活発に活動する。
- 3 こん虫は種類によって冬のこし方がちがう。
- 4 こん虫はすべてたまごで冬をこす。
- 5 こん虫は寒くなるほど元気になる。

2 水のじゅんかんを よんで、正しい説明を2つえらびましょう。

海や川、地面の水は、太陽に温められて水じょう気になり、空へのぼっていきます。空の高いところは冷たいので、水じょう気は小さな水のつぶにもどって雲になります。雲のつぶが大きく重くなると、雨や雪となって地上に落ち、また海や川へと流れていきます。水はすがたを変えながら、地球をめぐっているのです。

- 1 水は温められて水じょう気になり空へのぼる。
- 2 雲は水とは関係なくできる。
- 3 水は一度雨になると二度ともどらない。
- 4 水はすがたを変えながら地球をめぐっている。
- 5 水じょう気は空で冷えても水にもどらない。

長い文章を読んでえらぼう

小4／少し長い文章を読んで、正しい説明を2つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 じしゃくの性質を よんで、正しい説明を2つえらびましょう。

じしゃくは鉄を引きつけますが、どうやアルミニウムは引きつけません。じしゃくには必ずN極とS極があり、ちがう極どうしは引き合い、同じ極どうしはしりぞけ合います。じしゃくを自由に動けるようにすると、N極がいつも北を指して止まります。この性質を利用したものが方位じしんです。

- 1 じしゃくは鉄を引きつける。
- 2 じしゃくはどんな金ぞくも引きつける。
- 3 同じ極どうしは引き合う。
- 4 じしゃくのN極は北を指して止まる。
- 5 じしゃくにはN極しかない。

2 花から実へを よんで、正しい説明を2つえらびましょう。

多くの植物は、花をさかせて実をつくります。花の中でつくられた花ふんが、めしべの先につくことを受粉といいます。受粉すると、めしべのもとがふくらんで実になり、その中にたねができます。花ふんは、こん虫が運んだり、風に飛ばされたりして、めしべへと運ばれます。

- 1 花ふんがめしべにつくことを受粉という。
- 2 植物は受粉しなくても実ができる。
- 3 受粉するとめしべのもとが実になる。
- 4 花ふんはたねの中でつくられる。
- 5 花ふんは自分で歩いて動く。

長い文章を読んでえらぼう

小4／少し長い文章を読んで、正しい説明を2つえらびましょう

なまえ

ひづけ

1 太陽と影の動きを よんで、正しい説明を2つえらびましょう。

晴れた日、太陽は東からのぼり、南の空を通過して西にしずみます。太陽の光が物にさえぎられると、その反対がわに影ができます。だから、朝は影が西に長くのび、太陽が高くなる昼には影は短くなり、夕方にはまた東に長くのびます。日時計は、この影の動きを利用して時こくを知る道具です。

1 太陽は東からのぼり西にしずむ。

2 影は太陽と同じがわにできる。

3 昼になると影は長くなる。

4 影は太陽の反対がわにできる。

5 太陽は一日中同じ場所にある。

2 ごみのゆくえを よんで、正しい説明を2つえらびましょう。

わたしたちが出すごみには、もえるごみ・もえないごみ・資源ごみなどがあります。資源ごみとして分けて出されたかんやびん、ペットボトルは、工場でとかされたりくだかれたりして、新しい製品に生まれ変わります。これをリサイクルといいます。ごみを正しく分けることは、限りある資源を大切に使うことにつながります。

1 資源ごみは新しい製品に生まれ変わる。

2 ごみはすべてもやして終わりである。

3 ごみを分けることは資源を大切に使うことにつながる。

4 ペットボトルはリサイクルできない。

5 資源には限りがない。